

## 一般質問通告一覧

令和8年2月島田市議会定例会

令和8年3月2日・3日・4日本会議

島田市議会

◎ 発言順位

令和8年3月2日（月）

| 【代表質問】 |        |                     | （頁） |
|--------|--------|---------------------|-----|
| 4番     | 曾根 達裕  | 議員（清流の風：一問一答）       | 5   |
| 13番    | 内田 修   | 議員（創造島田：一問一答）       | 6   |
| 9番     | 川合 利也  | 議員（公明党島田市議会：一問一答）   | 8   |
| 8番     | 横田川 真人 | 議員（輝く島田：一問一答）       | 9   |
| 11番    | 四ツ谷 恵  | 議員（日本共産党島田市議団：一問一答） | 10  |

令和8年3月3日（火）

| 【個人質問】 |       |          |    |
|--------|-------|----------|----|
| 20番    | 八木 伸雄 | 議員（一問一答） | 12 |
| 3番     | 瀧 好伸  | 議員（一問一答） | 14 |
| 12番    | 望月 史彦 | 議員（一問一答） | 16 |
| 18番    | 青山 真虎 | 議員（一問一答） | 18 |
| 7番     | 天野 弘  | 議員（包括）   | 19 |

令和8年3月4日（水）

| 【個人質問】 |        |          |    |
|--------|--------|----------|----|
| 19番    | 岩崎 好美  | 議員（一問一答） | 22 |
| 16番    | 仲田 明   | 議員（一問一答） | 23 |
| 5番     | 石川 晋太郎 | 議員（一問一答） | 24 |
| 2番     | 横山 香理  | 議員（一問一答） | 26 |
| 15番    | 松本 晃   | 議員（一問一答） | 28 |

○一般質問の質問時間の目安

3月2日（月）

| 質問者  | 1人目            | 2人目             | 3人目                       | 4人目             | 5人目             |
|------|----------------|-----------------|---------------------------|-----------------|-----------------|
|      | 代表             | 代表              | 代表                        | 代表              | 代表              |
| 質問時間 | 9:30～<br>10:30 | 10:30～<br>11:30 | 11:40～<br>13:40<br>(途中昼休) | 13:40～<br>14:40 | 14:50～<br>15:50 |

3月3日(火)

|      |                |                 |                 |                 |                 |
|------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 質問者  | 1人目            | 2人目             | 3人目             | 4人目             | 5人目             |
|      | 個人             | 個人              | 個人              | 個人              | 個人              |
| 質問時間 | 9:30～<br>10:20 | 10:20～<br>11:10 | 11:20～<br>12:10 | 13:10～<br>14:00 | 14:00～<br>14:50 |

3月4日(水)

|      |                |                 |                 |                 |                 |
|------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 質問者  | 1人目            | 2人目             | 3人目             | 4人目             | 5人目             |
|      | 個人             | 個人              | 個人              | 個人              | 個人              |
| 質問時間 | 9:30～<br>10:20 | 10:20～<br>11:10 | 11:20～<br>12:10 | 13:10～<br>14:00 | 14:00～<br>14:50 |

※時間はあくまでも目安です。

代表質問の一问一答方式は持ち時間60分(答弁時間を含む)、包括方式は持ち時間40分(答弁時間は含まない)です。

個人質問の一问一答方式は持ち時間50分(答弁時間を含む)、包括方式は持ち時間30分(答弁時間は含まない)です。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

## 【 代 表 質 問 】

### 1. 4 番 曾 根 達 裕 議 員 ( 清 流 の 風 ) ( 一 問 一 答 )

#### 1 第 3 次 島 田 市 総 合 計 画 ( 案 ) 及 び 令 和 8 年 度 当 初 予 算 ( 案 ) に つ い て

令和 8 年度から令和 15 年度までを計画期間とする第 3 次島田市総合計画（案）及び当該計画に基づく令和 8 年度当初予算（案）が示された。一般会計の総額は 457 億円で、前年度比で増加し、過去 2 番目の規模の積極型予算となっている。当市を取り巻く環境が刻々と変化する中、10 年・20 年先を見据える一方で、足元の課題にも柔軟に対応し、将来像の実現を目指すものであると認識している。

人口減少・超少子高齢化が進展する中、ヒト・モノ・カネなどの限られた経営資源を効果的・効率的に活用し、市民の幸福度・満足度を高め、ウェルビーイングの向上につなげていかなければならない。

こうしたことから、これからのまちづくりは従来の考え方や手法にとらわれることなく、行政と市民、事業者、そして議会など、多様な主体が一体となって取組を進めていかなければならないと考えている。そこで、以下質問する。

- (1) 第 3 次島田市総合計画前期基本計画に基づく今後 4 年間のまちづくりの方針・考え方を伺う。
- (2) (1)を踏まえた令和 8 年度当初予算編成の方針を伺う。

1 施政方針について

日本社会では、物価高騰・少子高齢化・人手不足・防災といった課題が同時に進行している。物価の上昇は家計を圧迫し、生活の不安を高めている。また、少子高齢化により労働力が減少し、介護や物流など多くの分野で人手不足が深刻化している。さらに、自然災害が頻発する中、防災体制の強化や高齢者の避難支援なども重要な課題となっている。これらの問題は互いに影響し合い、社会の持続性を揺るがしており、国や地域、企業、そして私たち一人一人が協力して解決に向けた取組を進めることが求められている。

当市でも、少子高齢化と人口減少により労働力が不足し、医療・介護や農業など地域産業の維持が難しくなっている。大井川流域という立地から防災対策の強化も欠かせない。また、中心市街地の空洞化や消費の減少により商業振興が課題となっており、地域経済を活性化する取組が求められている。このような課題を念頭に、当市の令和8年度に向けた施政方針について、以下伺う。

(1) はじめに～本市を取り巻く社会経済情勢～について

- ① 「中部電力浜岡原子力発電所の再稼働に向けた審査における不適切事案は、重大な懸念事項」とあるが、当市における不適切事案に関する懸念事項とは何か伺う。

(2) 「安全・安心に暮らす」(防災、健康・医療・福祉、地域・生活)について

- ① 『防災』の分野における、「あらゆる危機事態に対応できる体制」とはどのようなものか伺う。

(3) 「未来を創る」(子育て・教育、観光・交流・歴史・文化、経済・産業)について

- ① 『経済・産業』の分野では、「時代の変化の中から未来につながる兆しを見出し、持続可能性を高めることができるよう、新たな産業や企業の誘致を図る」と述べているが、企業誘致については牛尾山東地区を見ても順調とは言えない状況にある。さらに、牛尾山地区の整備も行っており、今までの企業誘致の手法では用地の活用に不安がある。今までの企業誘致はどのように行っていたか伺う。
- ② 現在、当市では人手不足が問題になっているが、企業誘致後は今以上に人手が不足すると思われる。今後の人材確保の取組について伺う。
- ③ 中心市街地におけるにぎわいづくりについて

- ア 「既存の集客施設等の活用」とあるが、対象施設とはどのような施設か伺う。
- イ 空き店舗を活用したにぎわいづくりの具体的な取組を伺う。

### 3. 9番 川 合 利 也 議員 ( 公明党島田市議会 ) ( 一問一答 )

#### 1 令和8年度の施政方針と予算の大綱について

「令和8年度 施政方針と予算の大綱～「協働」から「共創」によるウェルビーイングの向上～」が示された。令和8年度は第3次島田市総合計画が新たにスタートする年度でもある。施政方針及び予算が第3次島田市総合計画の目指す「笑顔あふれる安心のまち 島田」にかなった市民生活の向上等に有効か否か、変化が激しい昨今の社会・経済情勢等に適応した内容か否かといった視点から、特に重要と思われる施策及びその他の既往施策について、当市の考え方を伺う。

##### (1) シティプロモーションと移住・定住施策の強化について

- ① シティプロモーションのこの10年の取組は市内外にどのようなプロモーション効果をもたらしたか伺う。
- ② シティプロモーションについて、今後新しい取組を検討しているか伺う。
- ③ 少子高齢化・人口減少という課題が近未来に大きく立ちほだかる状況を鑑みると、移住・定住施策の強化とこれを市内外に発信するシティプロモーションの新たな取組の検討が必要ではないかと判断するが、見解を伺う。

##### (2) 地域の基幹病院である市立総合医療センター（以下「総合医療センター」という。）の安定的な運営確保に向けた支援強化について

- ① 総合医療センターへの支援強化として、一般会計から24億4,018万円、うち追加分10億円を支援するという金額の算定根拠を伺う。
- ② 当市では令和9年度までの経営強化プランが策定されているが、令和6年度及び令和7年度の収支計画と収支実績（見込）の比較はどのようになっているか伺う。
- ③ 経営強化プランの見直しを検討しているか伺う。

##### (3) 歳入増加策としてのふるさと寄附金の推進強化について

- ① 令和7年度の個人版及び企業版ふるさと寄附金の寄附金額の見通しと増減の要因を伺う。
- ② ふるさと寄附金の増額に向けた具体的な取組について伺う。
- ③ 寄附者に対するアプローチについて伺う。

##### (4) 「生きがいを持って安心して暮らす（高齢者福祉・介護）」の既往施策である家族介護用品支給事業について

- ① 家族介護用品支給事業の制度内容と支援金額の見直しについての見解を伺う。

4. 8番 横田川 真人 議員 (輝く島田) (一問一答)

1 令和8年度の方針について

2月定例会において令和8年度の施政方針と予算の大綱が示された。さらに、令和8年度からは第3次島田市総合計画もスタートする。どれも大事な事業であるが、その中から幾つかピックアップして質問する。

(1) 第3次島田市総合計画で示された循環型社会について

- ① 当市の考えている循環型社会とはどういったものか。
- ② GXについて取り組んでいることは何か。
- ③ ゼロカーボンシティを表明しているが、どういった取組をしているか。
- ④ 環境の面から、当市がどうなることを目指しているか。

(2) 5月から開始される5歳児健診について

- ① 健診の内容について伺う。
- ② 健診の結果をどのように扱うのか。
- ③ 子供が将来どうなることを目的としているか。

(3) 水道料金の値上げについて

- ① 値上げの理由として、将来的に経営破綻の懸念があることが要因か。
- ② 内部留保資金残高を5億円維持したい理由は何か。
- ③ 物価高騰の社会情勢の中でも値上げを実施するのか。

1 リニア中央新幹線工事について

現在、JR東海が進めているリニア中央新幹線工事は、国の財政投融资3兆円が投入されている国家事業である。水は「命の基盤」であり、人類の共有財産である。水が失われて一番困るのは、水道水を使用する私たち一般市民や豊富な水を必要とする農業、工業事業者だ。リニア中央新幹線の県内工事では、トンネル湧水の全量を大井川水系に戻すと約束するとJR東海はしているが、どれだけの湧水なのかが不明である以上「不確実性」がある。その場合、JR東海は永久に補償し続けることができるのか。当市は大井川水系に位置する主要な自治体であり、その立場から南アルプストンネル工事に伴う水資源への影響についてどのように認識し、どのように関与していくのか伺う。

- (1) 1月24日に静岡県とJR東海の間で交わされた「中央新幹線南アルプストンネル工事により、水利用への影響が生じた場合の対応に係る確認事項」(以下「確認書」という。)について
  - ① 市長はこの確認書締結に当たり、「工事のスタートラインにやっとなつけた」と述べられた。改めてこの確認書をどのように評価しているのか。また、何が担保されたと考えているのか。
  - ② 確認書には「影響が生じた場合において、代替水源の確保等により水利用を継続的に行えるよう万全を期す観点から」と書かれている。代替水源とは具体的に何を想定されているか。
  - ③ 地下水位や地盤の変動は、工事中ではなく、十年後、数十年後に顕在化する可能性がある。この確認書に関して時間差リスクをどのように考えているか。
  - ④ この確認書では国の責任が明記されていないため、実質、空手形になる可能性があると思われるが、補償と回復措置の最終責任は誰が負うのか。
- (2) 山梨県内で実施中の先進抗掘削の現状についてどのように把握しているか。また、山梨県の断層②における透水係数の実測計画はどうなっているか。
- (3) 静岡県に入り200メートルほど進むと、約800メートル続く破砕帯に突き当たり、高圧大量湧水が心配されている。さらに西に進むと、東俣川直下で大量湧水が予想されている。さらに西に進むと、西俣川直下で大断層と破砕帯にぶつかり、高圧大量湧水が予想されている。さらに西に進むと、土被りが1,400メートルにも達する超高圧大量湧水が予想される地帯に入る。これらの地点での大量湧水による水位低下、水減少、水環境への影響についてはほとんど議論されていないと考

えるがいかがか。

- (4) コロナ禍以降、多くの企業・組織ではリモート会議が増加し、出張が減少したとの報道がある。JR東海がリニア中央新幹線開通後に見込んでいる利用者数年間3,000万人という需要と収益性の妥当性について疑問の声がある。リニア中央新幹線は東海道新幹線の利用者を取り合うことになる事業構造となっている。そこで、市として、社会状況の変化に伴いリニア中央新幹線の事業についてJR東海に問いただす必要があると考えるがいかがか。

## 2 島田市教育大綱（案）について

島田市教育大綱（案）については、当市が教育を市政の重要な柱と位置づけ策定していること自体は評価したい。しかし、子供の権利という観点が十分に反映されているとは言えないのではないかと考え、以下伺う。

- (1) 教育大綱（案）の対象期間は令和8年度から8年間とあるが、なぜ8年としたのか根拠を伺う。
- (2) 教育大綱（案）は全体的に抽象的で、「重点的取組に関する現状や課題」「想定される具体施策の例」「実施主体（学校、教育委員会、市長部局、地域他）」などが示されていない。基本理念で掲げられているように、市民総がかりで豊かな心と学びを育むことができるのか。
- (3) 教育大綱（案）では「一人ひとりの主体的な学びと生きる力を伸ばす」といった表現があるが、子供自身が意思を表明し、教育に反映される仕組みについて触れていないのはなぜか。
- (4) 学校運営や校則に子供の意見をどう反映させるのか。また、不登校や学校不適應に関する当事者の声をどう聴くのかといった具体的な仕組みが示されていないが、見解を伺う。

## 【 個人質問 】

### 1. 20番 八木伸雄議員 ( 一問一答 )

#### 1 市立総合医療センター経営強化策について

市立総合医療センターは本年5月に、はや開院5年を迎える。市立総合医療センターの建設については、開院2年後の11月定例会で建設に至る担当課の御尽力を高く評価させていただいた。

当時私は、特別委員会、常任委員会、そして政務調査を通じて、病院建設の実態調査と当市における課題を調査した。特別委員会では、新病院の受注が適正な競争を妨げることはないよう、これまで建築・改築に関わってきた内藤建築事務所に説明員としての出席を依頼し、議会として建設費抑制について強い関心を持っていることを伝えた。建設工事入札直前には、リニア中央新幹線工事の入札談合などの事件があったが、何といたっても入札結果に影響を与えた事案は、令和5年11月定例会で新病院建設委員長であった副市長の答弁にもあるように、建設計画に導入したコンストラクション・マネジメント方式の導入と担当課職員の熱意の結果であったと理解している。

私が調査した7か所の公立病院建設事業費から算定した結果、当時の相場445床では180億円だと予想した。市の設計予定価格は179億円だった。結果、落札価格は私の予想や市の予定価格を30億円も下回る149億円と驚きの価格だった。

本会議において業者選定議案の承認後、担当職員に労をねぎらう言葉をかけた際、目を潤ませていたのを見たとき、私自身も熱いものが込み上げてきたことを今でも覚えている。当局、議会一丸となって取り組んだ成果と思っている。

市民の安全・安心は確固たるものと思われたが、その後の新型コロナウイルス感染症の発生、医療従事者の働き方改革と給与の改定、医療器材・資材の高騰に加え、それらに伴うことのない診療報酬改定により、全国公立病院の9割は赤字経営であり、当市の医療センターも例外ではない。

本年6月には診療報酬の改定が行われると思うが、それとは別に、医業収益の改善への取組について以下伺う。

- (1) 市立総合医療センター建設に対する総括評価を伺う。
- (2) 新病院建設ではアメニティ環境に配慮したとの答弁があった。5年近くが経過したが職員の評価はどうか伺う。
- (3) 働き方改革による影響と対策、その後の職員の評価はどうか伺う。
- (4) 医業費用抑制に対する認識と対策を伺う。
- (5) 医業収益の改善に向けた取組を伺う。

(6) 医療従事者（医師・看護師・技師等）の配置状況に対する認識と確保の対策を伺う。

## 2. 3 番 瀧 好 伸 議員 ( 一問一答 )

### 1 静岡県版「学校・教師が担う業務に係る3分類」について

教員の本来の業務は、授業や学習指導、生徒指導など、児童生徒の成長に直接関わる教育活動に専念することである。

学校の働き方改革に関するいわゆる3分類は、平成31年の中央教育審議会答申で示されたものであり、この答申を踏まえ、県が平成30年度に作成した校務分類整理表を元に、令和5年度に県教育委員会から県版の3分類が提示された。

この3分類とは、「基本的には学校以外が担うべき業務」「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」の3つに整理されている。この提示を受け、当市の小・中学校においても働き方改革が進んでいるものとする。

しかし、現状では、学校行事の準備、保護者対応、部活動指導など、授業以外の業務が多くあり、教員が本来の業務に集中できない状況が続いている。教員が教育活動に専念できる環境を整えるためには、業務の適正化と役割分担の明確化が不可欠である。

以上を踏まえ、以下伺う。

- (1) 3分類が提示された背景と目的を伺う。
- (2) 3分類について、市町教育委員会や学校に対して具体的にどのような取組が求められているか伺う。
- (3) 各学校において、3分類を踏まえた業務の改善方針が策定されているか。策定されている場合、その業務の改善方針は教員にどのように共有されているか伺う。
- (4) 学校現場における3分類の取組状況について
  - ① 「基本的には学校以外が担うべき業務」とされている業務について、どの程度地域等との役割分担の適正化や削減が進んでいるか伺う。
  - ② 「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」とされている業務について、学校支援員、外部人材等の活用状況はどうか伺う。
  - ③ 「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」とされている業務について、ICT活用の状況や、地域人材、専門スタッフ等との連携の状況について伺う。
- (5) 年度末を迎えるが、現状の取組状況において、どのようなことを課題として捉えているか伺う。
- (6) 現場の教職員から寄せられている意見、感想にはどのようなものがあるか伺う。

う。

### 3. 12番 望月史彦 議員 (一問一答)

#### 1 金谷地区生活交流拠点整備運営事業のうち、SC醸成・向上業務について

事業期間の途上にある現在、本業務をどのように評価しているか。業務内容について以下伺う。

##### (1) 事業開始から現在までの具体的成果について

- ① 金谷地区のSC醸成・向上を通して、地域コミュニティの維持・活性化を図り、健康、教育、安全・安心などの面で暮らしやすいと感じられる地域づくりにつなげた具体的事例はどの程度あるのか。

##### (2) 令和8年度における計画について

- ① 令和8年度はどのような業務を実施するか。具体的な事業プログラムの内容と当初の計画から修正または改善された点があれば伺う。

#### 2 島田市観光戦略プラン2021-2026について

当市の主要政策として「稼ぐ観光」の実現が挙げられており、現観光戦略プランは2025年度を最終年度として現在はその終盤に差し掛かっていることから、以下伺う。

##### (1) 現観光戦略プランの中間評価と重要目標達成指標(KGI)の達成状況について

- ① 観光交流客数や観光消費額といった重要目標達成指標(KGI)の達成状況はいかがか。特に、コロナ禍を経て変化した旅行形態に対し、これまでの施策がどのような効果を上げたのか、現時点での総括を伺う。

##### (2) 観光コンテンツの「稼ぐ力」と持続可能性について

- ① KADODE OOI GAWAや大井川鐵道などの各拠点を核とした回遊性の向上について、どのような具体的成果があったか。また、滞在型観光(宿泊)の促進において、現プランで不足していた視点や今後の課題として浮き彫りになった点は何か伺う。

##### (3) 次期観光戦略プランの策定に向けた基本方針について

- ① 次期観光戦略プラン策定に向けた2026年度以降のスケジュールとその基本方針について伺う。特に、昨今の深刻な人手不足、ICTによる観光情報の発信及び持続可能な観光(サステナブル・ツーリズム)の視点を次期観光戦略プランにどう盛り込む考えなのか伺う。

#### 3 中部電力浜岡原子力発電所について

浜岡原発において、設計の基準となる基準地震動を低く設定するために意図的なデータ操作があったことが発覚した。市民が安全・安心に暮らすため、以下伺う。

(1) 中部電力株式会社について

- ① この不正発覚を受け、市長は中部電力株式会社の企業体質についてどのように考えているか伺う。
- ② 不安を抱く市民に対し、市民が直接参加し質疑応答が可能な双方向型の説明会を開くべきだと考えるが、市の見解を伺う。

(2) 島田市総合計画市民意識調査について

- ① 原子力規制委員会が今回のデータ不正を見抜けなかったことは、原子力規制委員会が合格を出した原発であっても「安全」とは言えないことを示している。また、基準地震動が「その原発を襲う地震の平均の地震動」で求められており、「その原発を襲う最大の地震動」ではないことが明らかになった。これらは、原子力規制委員会が審査合格を出した原発であっても安全とは言えないと発言してきたことが、別の角度から証明されたと言える。島田市総合計画市民意識調査において、「浜岡原子力発電所の再稼働についてどのようにすべきであると思いますか。」の問いに対しての回答項目として「対策工事が完了し、国が安全であると認めた場合は再稼働してよい」とあるが、この項目は削除し、「賛成」「反対」「分からない」「無回答」の4項目にすべきと考えるが、市の見解を伺う。

(3) 国の原子力行政について

- ① データの意図的な操作を見抜けなかった原子力規制委員会の審査体制はもはや十分に機能していないと考える。原子力規制委員会、原子力規制庁に地震学者などの専門家を増員し、独自で調査や立証ができるように体制強化すべきであり、市として国に要求すべきと考えるが、市の見解を伺う。

#### 4. 18番 青山真虎議員 (一問一答)

##### 1 未来ビジョン、少子化対策、浜岡原発など様々な課題

- (1) 市長の未来ビジョンはどうか。未来ビジョンとはどのようなものと認識しているか。
- (2) 中部電力浜岡原子力発電所で安全に関するデータ改ざんがあった。市として再稼働は遠のいたと考えているか。
- (3) 少子化対策として、来年度以降の具体的な出生数を増やすための施策、結婚支援等はあるか。
- (4) 不登校、子供のいじめが過去最多（76万件）を毎年更新しており、数字には出ないが大人の世界でも同様のことが起きていると思われる。子供は大人の背中を見て育つ。去年9月5日の台風時、私の自宅が床下浸水したタイミングで妻から緊急の連絡が入ったため、議会中であつたが早退し浸水の対応に当たっていたが、その際、市長は「青山議員は議会をさぼって地域回りをしていた」等の噂を関係者に話していたと聞いた。子供のいじめのことも再質問する予定だが、まずはこれが事実か伺う。
- (5) ハザードマップ上で浸水想定区域内の一次避難所の数は。割合はどうか。
- (6) 農業従事者の生活の安定のための今後の展開について伺う。
- (7) 交通弱者対策。バス増便、住民主体の移動支援、ライドシェアなど今後の公共交通の予定と、遠隔診療、移動販売等の予定はどうか。

##### 2 リニア大井川渇水（流量減）の補償は家庭の井戸水まで

リニア水問題について県が補償の協定書（確認書）をJR東海と交わしたようだが、その内容はあらかじめ市に伝達され異議はなかったと聞く。工事による一般家庭の井戸枯れについても補償をとの市民の声が多数あるなかで、今後補償に付け加えるべき詳細事項が出てきた場合、追加の文言なり約束を求めていく考えはあるか。ようやく着工の入り口に立ったと市長は発言したが、渇水の心配をする市民感情をどのように捉えているか。

## 5. 7番 天 野 弘 議員 ( 包 括 )

### 1 地域循環共生圏の取組について

地域循環共生圏は、2018年に我が国の第5次環境基本計画において提唱された概念で、地域が持つ自然資源や社会資源を循環させながら地域の特性に応じた持続可能な社会を形成することを目指している。また、ローカルSDGsとも言われ、ウェルビーイングなまちづくりでもあり、地域資源の持続的な活用により社会的課題を解決し、それにより経済循環を強くしていくことが期待される。

当市は、面積の約70%を森林が占め、国内有数の河川、大井川が市の中心部を流れている自然環境に恵まれた地域であり、この豊富な水や木材資源を利用した産業により栄えてきた。現在でも、大井川上流には大規模水力発電があり、市内にも川口発電所をはじめ4か所の水力発電所が稼働し、一般家庭の約9万世帯相当の電力が供給されている。さらに、市内にある製紙会社では廃棄プラスチック等を固形燃料化し化石燃料に代わる燃料資源として活用している。また、森林のCO<sub>2</sub>吸収量を「クレジット」として認証し売買する制度が2018年から始まっている。森林に恵まれた当市において、この制度に取り組むことによるCO<sub>2</sub>削減効果は大きいものと思われ、令和5年9月定例会一般質問において積極的な取組を要望した。加えて、大井川の堤防や河川敷などの除草で発生する刈草は現在焼却しているが、資源として有効活用する価値は十分にあると考えられるなど、市内にはまだまだ活用されていない未利用資源が多くあるものと思われる。

現在策定中の第3次島田市総合計画はこれから8年間の当市のあるべき方向を示すもので、特に基本構想は重要な指針となるが、基本理念及び将来像は、第2次島田市総合計画と同じ内容で継承されている。特に、環境・自然の施策では「維持と保全」が将来の方向性として示されているが、これからの環境・自然の施策には、ある資源を積極的に生かしていくことが必要ではないかと考える。

私達同僚議員は、香川県三豊市で行われている家庭由来の可燃ごみを燃やさず固形燃料化し製紙工場で利用している事例について、昨年より調査研究を進めるとともに、当市議会定例会の一般質問において紹介してきた。温室効果ガスの大幅な削減が求められる時代に大変注目される技術と思われる。日本最大の製紙会社がある四国中央市においてもこの技術を活用したごみ処理施設の整備が始まっている。また、森林J-クレジット制度については、近隣の藤枝市や静岡市井川の森林をはじめ県内でも取組が行われているなど、森林資源の活用も注目されている。さらに、当市の牧之原台地や川根地域に広がる茶園風景や、はるかに望む富士山の風景も価値ある自然資源と思われる。

自然環境に恵まれた当市は、地域循環共生圏としてのポテンシャルが非常に高いのではないかとと思われる。地域循環共生圏の考え方にに基づき、当市の環境資源を活用し、それぞれ互いに連携することにより、環境に優しい島田市が目指せるのではないかと期待される。

現内閣は「責任ある積極財政」により強い日本を取り戻すことを強調している。当市の将来像として島田市総合計画で示す「笑顔あふれる安心のまち」も市民目線からは素晴らしいキーワードとは思いますが、急激な人口減少や少子高齢化を迎える地方自治体において、今後環境をキーワードにした取組が重要ではないかと考え、以下の項目について質問する。

- (1) 国が提唱している地域循環共生圏についてどのように考えているか伺う。
- (2) 家庭ごみの処理について、今後どのように対応していくのか方針を伺う。
- (3) 溶融炉である田代環境プラザの長寿命化を今後も継続するのか伺う。
- (4) 大井川用水を利用したミニ及びマイクロ水力発電の推進について、どのように考えているのか伺う。
- (5) 森林J-クレジットを市として今後どのように推奨していく考えか伺う。
- (6) 間伐材や刈草など市内の未利用資源の利活用について考え方を伺う。
- (7) 当市の自然環境を観光や産業に結びつけていくことが可能かどうか伺う。

## 2 公民館・図書館の現状と今後の運営管理について

現在、市内には3つの公民館、2つの農村環境改善センター、3つのふれあいセンター等が設置されている。さらに、図書館は、島田、金谷、川根地区にそれぞれ整備されている。公民館及び図書館は市が直接運営を行ってきたが、既に公園やスポーツ施設等市の多くの公共施設は指定管理者制度に基づき運営管理が民間企業に委託されている。

今般、金谷地区生活交流拠点整備運営事業をPFI手法に基づき実施するに当たり、周辺の金谷公民館及び金谷体育センター等を指定管理者に包括的に委託することで令和5年度から金谷公民館の運営管理が民間により行われてきた。しかしながら、3年経過する中で、金谷公民館が行ってきた社会教育事業（自主事業など）が委託業者により十分に行われなかったことから、令和8年度から指定管理による委託を中止し、市が直接運営管理することになった。今後、当市が公民館や図書館の運営管理をいかに行っていくべきかを検討するため、同僚議員とともに県外の公民館及び図書館の指定管理の状況について視察調査を行った。神奈川県大和市の市民交流センター「シリウス」及び北海道函館市の市民交流センター「亀田交流プラザ」の2つの施設では、

いずれも指定管理者が運営管理を行っていた。合同企業体が指定管理者として運営管理を実施し、いずれも2期目を迎え、市民交流センターとして指定管理の実績を上げていることを確認した。

そこで、今後、本市として公民館や図書館の指定管理をどのように進めていくのか伺うとともに、公民館機能の拡大について以下質問する。

- (1) 最近の公民館及び図書館の利用状況について伺う。このうち、公民館の自主事業（公民館が企画した講座等）の実施状況について併せて伺う。
- (2) 公民館及び図書館を指定管理者に委託した場合のメリット及びデメリットを伺う。
- (3) 現在、公民館及び図書館が抱える課題は何か伺う。
- (4) 今後、本市として公民館及び図書館の運営管理を指定管理者に委託する考えがあるのか伺う。
- (5) 公民館機能を社会教育だけでなく、子育てや高齢者福祉などの地域福祉の場として機能の幅を広げていくことができないか伺う。

## 6. 19番 岩崎好美議員 (一問一答)

### 1 当市におけるDXの取組の浸透と今後の推進計画について

私たち市民は、日々の生活をより快適に充実したものとするために、行政の取組について理解する必要がある。

第3次島田市総合計画(案)の将来像「笑顔あふれる 安心のまち 島田」を実現するためには、市民の生活に即した行政サービスの実施が重要である。基本計画の横断的な視点に掲げられている「DX・GXの推進」では、「デジタル技術の積極的な活用により、地域の個性を活かしながらデジタルの力によって地方創生の取組を加速化・深化させるとともに、市民誰もがデジタル技術を活用し、安心して快適に暮らすことができるまちづくりを推進します。」としている。時代の流れでDXの必要性は理解していても、何のためにDXの推進をし、それによる恩恵を市民がどれだけ受けているのか。当市におけるDX化を意義のあるものとするため、市民が身近にDXを感じて社会生活に充実感をもたらす取組について、以下伺う。

- (1) DX化の良い点と悪い点は何か。
- (2) 当市におけるDX化のゴールは何か。
- (3) 具体的に、直接市民が分かりやすいDXの取組は何か。
- (4) 自治会のDX化について、当市の自治会役員の高齢化の現状を踏まえて、具体的にどのように進める計画なのか。

### 2 市民の生活と命を守る様々な取組について

市民の生活と命を守る行政の様々な取組について、これまでの定例会での答弁を振り返りながら以下伺う。

- (1) 市民の生活を守る交通手段について、令和6年度の運転免許証の自主返納者が390人となっている。近隣市のようなタクシー券の交付について同僚議員からも過去の一般質問にて提案されたが、導入の考えがないとの答弁があった。仮にタクシー券の交付の導入ができるとした場合の条件はあるか。
- (2) 市民の命を守る健康診断について、昨年6月定例会の一般質問において、胃がん検診における胃カメラの検査の推進を検討するようお願いした。その後の進捗状況を伺う。

7. 16番 仲田 明 議員 ( 一問一答 )

1 運転免許証の自主返納促進と高齢者の自由な移動を維持するための施策について

市内における交通死亡事故が後を絶たない。先日も高齢者が関係した交通死亡事故が発生したという痛ましい報道記事を見た。今年に入ってから既に2件発生しており、被害者、御家族、関係者の悲しみはいかばかりかと同情を禁じ得ない。

高齢者が関係した交通事故については、一概に高齢者が被害者になるばかりでなく、ときとして加害者になることもあり得ると考える。

都会であれば公共交通網が発達しており、自ら自動車を運転しなくても生活できるのであるが、当市においては自動車がなければ自由な移動が困難な生活環境にあり、多少運転への不安があってもハンドルを握らざるを得ない高齢者が身の回りに多くいる。

願わくは、高齢者が交通事故の被害者・加害者になることのないように、自動車の運転に不安を抱える方はできる限り運転免許証の自主返納をしていただきたい。しかし、運転免許証を返納してしまうと日常生活に支障が出てしまうという状況から返納できないという実情があると思われる。こうしたことが高齢者が関係した交通事故発生の一因になっていると考える。

高齢者が安心して暮らせるまちづくりのためには、運転免許証の自主返納促進と、返納した後の移動手段の確保による自由な移動の維持が必要と考え、以下質問する。

- (1) 過去5年間において、市内で自動車運転免許証を自主返納した件数はどれくらいあったか伺う。
- (2) 現在、自主返納を促す施策としてどのような取組を行っているか伺う。
- (3) 現在、当市では高齢者の移動手段の確保に向けてどのような取組を行っているか伺う。
- (4) 高齢者の移動手段としてコミュニティバスは欠くことができないものと考えますが、昨年度の実績として、運行に要した委託費、利用人数及び運賃収入を伺う。

## 8. 5番 石川 晋太郎 議員 ( 一問一答 )

### 1 基金の在り方について

総務省は、地方の財政状況に関して「引き続き厳しい状況にあり、歳出削減等を進めて財政健全化を図ることが喫緊の課題となっている」と示している。当市においても、人口減少と少子高齢化がもたらす税収減の中、社会保障費や老朽化した公共施設等の更新費用の増加により、歳入減少・歳出増加という厳しい状況が予測されており、これまでの定例会では、歳入・歳出の両面から市財政の中長期的な見通しを伺ってきた。

一方、日々の議員活動を通じ、市民の皆様から地域公共交通・社会福祉・インフラ整備・都市開発をはじめ様々な御要望を預かっている。当市の未来を担う子供たちが安全・安心に学べる環境を整えるため、小・中学校の特別教室への空調設備設置を求める提言もその一つである。これら社会的課題が未解決である主な理由として、中長期的視点で見た場合の財源不足が挙げられるが、厳しい財政状況の中とはいえ、真に必要な事業には財源を確保し、着実に取り組まなくてはならない。

こうした背景の中、今回の一般質問では、小・中学校の特別教室（理科室）への空調設備設置を題材とし、当市一般会計の実質収支や財政調整基金をはじめとした基金の在り方について伺っていく。

- (1) 令和7年度実質単年度収支見込額と令和7年度末の財政調整基金見込残高を伺う。
- (2) 財政調整基金の在り方について改めて伺う。
- (3) 令和8年度島田市一般会計予算書によれば、年度末において、特別教室（理科室）において空調設備が未設置の学校数は7校となる。7校に設置した場合の見込額を伺う。

### 2 市立総合医療センターの経営状況について

昨年春、全国市長会では、人件費や物価高騰で危機的状況にある自治体病院の存続に向け「緊急に十分な財政支援を行うこと」「地域で持続可能な医療提供体制を維持していくため、診療報酬については、社会経済情勢等に応じて、改定期を待たずに必要な見直しを行う仕組みを導入するなど、柔軟に対応すること」を国に緊急要望している。また、昨年は同様の要望が他団体等からも相次いで提出されており、一層の事態の深刻さが伺える。全国の自治体病院の約9割が経常収支赤字に陥っている中、市立総合医療センターにおいても経営状況の厳しさが増しており、令和8年度一般会計か

ら同病院企業会計への繰出額は、標準財政規模の約1割に相当する約24億円を見込んでいる。自治体病院は、市民の皆様の生命を守る、地域医療を支える重要な役割を果たしているため、経営効率だけを求めることは適切でないと言えるが、一方で、支える財源には限りがある。こうしたことから、市立総合医療センターについて以下伺う。

- (1) 先日、厚生労働大臣の諮問機関である中央社会保険医療協議会は、2026年度の診療報酬改定案をまとめ、答申した。改定は6月からとなるが、その内容を伺う。
- (2) 令和8年度中に実施される国からの財政支援内容を伺う。

## 9. 2番 横山香理 議員 (一問一答)

### 1 当市を取り巻くインターネットの現況について

最近のネット社会の進化はすさまじいものであると感じる中で、未来を担う子供たちには、ネットを使用する際の倫理感や道徳心が一層求められていると感じている。また、どの年代においても、例えば「ネット通販」「サポート詐欺」「ワンクリック詐欺」「なりすまし」などのネットに関連したトラブルがさらに増加し、かつ、巧妙化している。市民ができるだけトラブルに巻き込まれないようにするために、現在どのような対策を講じているか伺いたく、以下質問する。

- (1) ネットでのトラブルについて、現在全国的に見てどのような事例があるか伺う。その中で、実際当市で被害を受けた事例はどのようなものであるか併せて伺う。
- (2) 3年前と比較して、市内のトラブルに関する相談件数を伺う。
- (3) 市内小・中学校において、タブレット端末でのトラブルはこれまでにあったか。ある場合、どのような内容のものであったか伺う。
- (4) 市内小・中学校において、スマートフォンあるいは生成AIの使い方について道徳的な講座は行っているか。行っている場合、どのような内容なのか伺う。

### 2 当市における地域公共交通の将来とライドシェアの可能性について

公共交通については、これまで同僚議員からの一般質問や委員会での提言など、様々な形でその在り方について触れられ、その都度議論がなされてきた。私は日頃から、地域の居場所、ふれあいサロン、いきいきクラブなどへ出向く機会があることから、特に高齢者から身近な声を聞く。その中で皆が一番心配されていることが、免許を返納した後の足の確保である。また、私の地域では昨年「大柳を良くする会」を発足させ、年が明けてから初めて活動を行った。今後どのように活動を展開させていくか議論を重ねていくことになるが、初めての活動に至るまでには自主運行の話も上がった。ただ、乗り越えなければならない様々な課題を想定し、躊躇していることも現状にある。それらを踏まえ、今後の公共交通の方向性と自主運行、特にライドシェアの可能性を伺いたく、以下質問する。

- (1) 地域主体での自主運行をするために、現在、どのような形で運行するのが一番実現可能な方法であると考えているか伺う。
- (2) 自主運行にライドシェアを導入したい場合、必要なことや条件を伺う。

- (3) 当市として公共ライドシェアの導入を考えているか伺う。
- (4) ゆいタクの運行状況について伺う。

10. 15番 松本 晃 議員 ( 一問一答 )

1 地域コミュニティの活動について

地域コミュニティの活動は、防犯・防災上の安全・安心の確保や共同施設・設備の維持管理など、様々な面で住民の生活を支えている。他方で、地域住民の高齢化や現役世代のライフスタイルの変化などで活動の維持が難しくなっている地域が増えている現状にある。

人口構成を見ると、2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達し、団塊ジュニア世代が50代前半に達している。相対的に人口が少ない世代が65歳前後で、定年を迎える世代となっている。地域コミュニティ活動の観点からは、定年を迎える世代は地域活動のリーダー的役割が期待されているものの、前の世代よりも人口が少ないため担い手不足や負担感をより強めていると考えられる。

地域コミュニティの活動は自主組織の活動ではあるが、さらなる市の支援が必要な状況にあると考える。そこで、当市における地域活動に対する取組について、以下質問する。

- (1) 自治会・町内会における現状の課題は何か。
- (2) 自主防災組織における現状の課題は何か。
- (3) 民生委員・児童委員について現状の課題は何か。
- (4) 旧島田市と旧金谷町との合併の際に、自治会・町内会の再編が行われた。さらなる自治会・町内会の再編への市の見解について伺う。